

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	二級河川 ^{てんぱくがわ} 天 ^{あつみ} 白川(渥美)水系				
事業箇所	田 ^{たはらし} 原市				
事業の あらまし	<p>^{てんぱくがわ}天^{たはらし}白川は、田原市西部の丘陵に端を発し、台地を北流し^{あつみわん}渥美湾に注ぐ、河川延長約 4.9km、流域面積約 8.0km²の二級河川である。</p> <p>当該流域は、1982年7月～8月の台風10号および低気圧により、伊良湖^{いらご}観測所において降り始めからの雨量が444.5mm、日雨量が286mmを記録し、床下浸水190戸、床上浸水1戸、浸水面積154haの被害を受けた。</p> <p>このため、2019年5月に二級河川天白川(渥美)水系河川整備計画を策定し、河床掘削や築堤(パラペット設置)による流下断面の拡大を実施し、治水安全度の向上を図っている。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年超過確率1/5の規模の降雨(24時間雨量177.7mm,1時間雨量49.4mm)による洪水を安全に流下させることを目標とする。 				
計画変更 の推移		事業採択時 (2020年度)	再評価時 (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020～2049	2020～2049	変更なし	
	事業費(億円)	0.983	0.983	変更なし	
	経費 内訳	工事費	0.589	0.589	変更なし
		用補費	0.053	0.053	変更なし
		その他	0.341	0.341	変更なし
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河床掘削 延長L=約1.6km ・築堤(パラペット設置) 延長L=約0.3km 	<ul style="list-style-type: none"> ・河床掘削 延長L=約1.6km ・築堤(パラペット設置) 延長L=約0.3km 	変更なし		

II 評価

①事業の必要性の変化

1) 必要性
の変化

【事業採択時の状況】
 ・天白川(渥美)は、長倉橋(1.285k)から上流端付近(4.500k)までは「堤防高一余裕高」評価において年超過確率 1/5 の規模の降雨に対応した河道改修が行われているが、その他の区間は流下能力が不足している。
 こうしたことから、流下能力不足箇所について河道改修を実施し、治水安全度の向上を図る必要がある。

表 1 主な浸水実績

洪水年月日	洪水要因	水害要因	浸水面積 (ha)		浸水戸数	
			宅地	農地	床下浸水	床上浸水
1980.10.4 ~ 10.19	台風第19号	内水	0.00	302.50	0	0
1982.7.5 ~ 8.3	豪雨、落雷、風浪と台風第10号	内水	1.80	152.00	190	1
1982.9.10 ~ 9.13	豪雨と台風第18号	内水	1.80	0.00	33	0
1983.8.12 ~ 8.19	台風第5.6号	内水	0.00	37.00	0	0
2001.9.10 ~ 9.11	豪雨と台風第15号	内水	0.05	3.28	0	1
2004.10.8 ~ 10.12	豪雨と台風第22号	内水	0.05	12.55	5	0

【再評価時の状況】
 ・天白川(渥美)水系では、2004年の豪雨以降は大きな浸水被害は発生していないが、改修区間延長L=1.6kmに対する進捗率は0.0%であり、依然として浸水の危険性は事業採択時と変化していない。
 ・また、これまでの被害状況に加えて、全国や近隣地域で過去にも増した被害が発生している状況にあるため、引き続き被害軽減対策となる河川改修を積極的に進めていく必要がある。

【変動要因の分析】
 ・天白川(渥美)流域の田原市全体では、2019年~2023年にかけて人口が4.5%減少し、世帯数が2.0%減少している。土地利用の割合は、宅地が0.2%増加し、農地が0.8%減少している。
 ・田原市全体としては、大きな変動がないことから、河川への雨水の流出量はほぼ同程度と推定できる。

判定

B

A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。
 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。
 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。
 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。

【理由】

・浸水の危険性は事業採択時から大きく変化していないため。

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <p style="text-align: center;">表2 事業計画及び工事実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030 ～ 2049</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">工事 区分</td> <td>測量</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>パラペット</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>掘削</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">↔</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">事業 費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.16</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.16</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.66</td> <td style="text-align: center;">0.98</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.06</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">0.00</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.06</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">0.18</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.74</td> <td style="text-align: center;">0.98</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <p style="text-align: center;">表3 事業進捗率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td style="text-align: center;">0.267</td> <td style="text-align: center;">0.000</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> <td style="text-align: center;">1.600</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td style="text-align: center;">0.16</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td style="text-align: center;">39.1 %</td> <td style="text-align: center;">0.98</td> <td style="text-align: center;">6.5 %</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td style="text-align: center;">0.10</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> <td style="text-align: center;">0.59</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td style="text-align: center;">112.7 %</td> <td style="text-align: center;">0.34</td> <td style="text-align: center;">18.8 %</td> </tr> </tbody> </table>															2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030 ～ 2049	合計	工事 区分	測量					↔								設計						↔							用地補償							↔						工事								↔					パラペット									↔				掘削										↔			事業 費 (億円)	当初計画	0.16				0.16				0.66		0.98	実績	0.06										0.00	今回計画	0.06				0.18				0.74		0.98		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.267	0.000	0.0 %	1.600	0.0 %	事業費(億円)	0.16	0.06	39.1 %	0.98	6.5 %	工事費	0.10	0.00	0.0 %	0.59	0.0 %	用補費	0.01	0.00	0.0 %	0.05	0.0 %	その他	0.06	0.06	112.7 %	0.34	18.8 %
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030 ～ 2049	合計																																																																																																																																																																											
	工事 区分	測量					↔																																																																																																																																																																																		
		設計						↔																																																																																																																																																																																	
		用地補償							↔																																																																																																																																																																																
		工事								↔																																																																																																																																																																															
		パラペット									↔																																																																																																																																																																														
		掘削										↔																																																																																																																																																																													
	事業 費 (億円)	当初計画	0.16				0.16				0.66		0.98																																																																																																																																																																												
		実績	0.06										0.00																																																																																																																																																																												
今回計画		0.06				0.18				0.74		0.98																																																																																																																																																																													
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																																					
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																				
延長(km)	0.267	0.000	0.0 %	1.600	0.0 %																																																																																																																																																																																				
事業費(億円)	0.16	0.06	39.1 %	0.98	6.5 %																																																																																																																																																																																				
工事費	0.10	0.00	0.0 %	0.59	0.0 %																																																																																																																																																																																				
用補費	0.01	0.00	0.0 %	0.05	0.0 %																																																																																																																																																																																				
その他	0.06	0.06	112.7 %	0.34	18.8 %																																																																																																																																																																																				
②事業の進捗状況及び見込み	2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・水門の自動化、耐震補強工事を優先してきた。 																																																																																																																																																																																							
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水門の自動化、耐震補強工事の完了後、河床掘削や築堤(パラペット設置)を行い、計画どおりの完了が見込まれる。 																																																																																																																																																																																							
	判定	B	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>○これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																																																																						
		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水門の自動化、耐震補強工事の完了後、河床掘削や築堤(パラペット設置)を行い、計画どおりの完了が見込まれる。 																																																																																																																																																																																							

1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】
・特になし

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】

表4 費用対効果分析結果

区分		事業採択時 (基準年：2020年)	再評価時 (基準年：2025年)	備考	
費用 (億円)	事業費	90.9	—		
	維持管理費	10.1	—		
	合計 (C)	101.0	—		
効果 (億円)	便益	552.0	—		
	残存価値	0.0	—		
	合計 (B)	552.0	—		
	(参考) 算定 要因	浸水面積 (km ²)	0.656	0.656	
		宅地面積 (km ²)	0.010	0.010	0.0%
農地面積 (km ²)		0.630	0.614	0.6%	
田原市 人口 (人)		60,787	58,058	4.5%	
費用対効果分析結果 (B/C)		5.47	—		

※金額は、社会的割引率(4%)を現在の価値に換算したものの。

※算定要因の数値は、国土数値情報土地利用メッシュ(国土交通省国土計画局)に基づく。

※費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原則として、事業採択時と比べ、その要因が3割を越えて変化している場合、または費用対効果分析結果が1未満になる恐れがある場合に実施するとされており、今回の評価では算定していない。

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】

- ・「治水経済調査マニュアル(案)R7.7」
- ・河川事業は、主に豪雨等による洪水による被害軽減、防止を目的とした事業であり、河川改修事業を実施することで解消、軽減できる被害額を便益(B)とし、それに要する費用(C)と比較して、費用便益比(B/C)を求める。事業採択にあたっては、その値が1以上であることを要件としている。

【変動要因の分析】

- ・特になし

2) 貨幣価値化困難な効果の変化

【事業採択時の状況】

- ・特になし

【再評価時の状況】

- ・特になし

【変動要因の分析】

- ・特になし

判定

A

- A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。
- B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。
- C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。

【理由】

- ・算定要因に大きな変動がないため、事業採択時と同様の事業効果が発現される見通しである。

Ⅲ 対応方針

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。

継続：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・事業後の河川水位や浸水の規模等

※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合には、同期間の最大規模の降雨により評価する。

※事業後の河川水位の低下や浸水の規模・発生頻度の減少などを検討し、事業効果の評価を行う。